

事業計画

I 基本方針

我が国の景気は、各種の政策効果などを背景に、緩やかな持ち直し傾向が続くことが期待されるものの、欧州の政府債務危機により海外景気が下振れするなど、先行きに影を落としています。

また、昨年は東日本大震災や台風12号による災害、タイの水害などに見舞われた年であり、我々をとりまく自然災害に対して、今まで以上に高い意識を持って取り組んでいく必要があると考えます。

このような中、当事業団は公益法人制度改革において、行政施策との協調のもと環境保全のための各種事業を幅広く実施し、もって快適かつ持続可能な地域社会の実現に貢献・寄与することを目的に、全ての事業を公益目的事業とし、平成24年4月1日より新たに『公益財団法人』としてスタートいたします。

こうしたことから、平成24年度におきましては、引き続き基幹の廃棄物処分事業をはじめ、下水汚泥等の中間処理事業や環境調査事業など、全ての部門でコストの削減、省エネ対策等を推進するとともに、危機管理対策の見直しを行い、一層の体質強化と公益性のある事業展開を図ってまいります。

また、環境学習センター「アスエコ」につきましては、環境学習拠点、地球温暖化防止活動推進センターとしての機能の確立に向け、今後、NPOやボランティア等との連携・協働を推し進め、地域の環境拠点としての役割を果たしてまいります。

さらに、岡山県から指定管理者に指定されております「岡山県自然保護センター」の管理運営や残土処理事業等につきましても、高い顧客満足度を目指し、信頼性の向上に努めることはもちろんのこと、各部の連携に努めながら、快適かつ持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

Ⅱ 事業実施計画

1. 廃棄物処理処分事業

県内で発生する廃棄物の適正処理に関する各種事業を実施することにより、地域の環境保全に貢献するとともに、循環型社会の形成に対応した事業に取り組む。

(1) 廃棄物埋立処分事業 (2,258,000千円)

事業所から排出される産業廃棄物等を受入れ、水島処分場で埋立処分する。第1処分場及び第2処分場において、廃棄物受入管理及び適正な埋立処分、並びに廃棄物処理施設等を活用した環境啓発活動を実施し、高い顧客満足度を実現する。なお、受入計画量は、平成23年度の受入実績等を考慮し190,000トンを見込む。また、排水処理については、放流水水質基準値の遵守と経済的な運転を行う。さらに、第1処分場を適正に終了させるための施設整備等に取り組むとともに、廃止計画や跡地利用について、引き続き検討を行う。

(2) 産業廃棄物中間処理事業 (917,910千円)

公共下水処理施設から発生する下水汚泥等を受入れ、水島クリーンセンターで焼却処理する。また、施設の稼働率向上を図るとともに、下水汚泥と廃プラスチック類等、及びRDFの混焼による効率的かつ安定的な操業管理を行う。さらに、長期的視点に立った計画的かつ効率的なプラント管理を行い、併せて、施設の長期利用に向けて、整備を行う。

受入計画量

下水汚泥等	52,300トン
廃プラスチック類等	7,100トン

(3) 廃棄物（循環資源）コンサルタント事業 (5,120千円)

事業団が培った廃棄物の処理、各種環境調査とその評価に関するノウハウを基に、企業等に対し廃棄物の適正処理、リサイクル等に関する評価・助言等を行うことにより、資源の有効利用に資する。

2. 環境調査事業

行政機関や企業等からの依頼を受け、各種分析測定、自然環境調査及び環境アセスメント等を実施する。事業の実施に当たっては、各種依頼に的確かつ迅速に対応するとともに、より精度の高い環境データの提供を行えるように品質の向上、作業の効率化に努める。

(1) 環境計量証明事業 (225,920千円)

水質、土壌、底質、大気等の環境試料及び産業廃棄物等についての測定・分析業務を実施する。実施に当たっては、環境省等の登録・指定を受けている「計量証明事業者」、「土壌汚染調査指定機関」や廃棄物分析分野で取得した「ISO/IEC17025（試験所能力認定）」の要求技術水準に基づき、高いレベルの精度管理と適正な事業運営に努める。

(2) 環境アセスメント事業 (105,300千円)

環境アセスメント事後調査である環境管理業務や廃棄物処理施設の設置等に係る生活環境アセスメント、動植物等の自然環境、その他水質・大気質や騒音振動等の各種調査業務を実施する。また、公共関係の入札案件業務については厳しい状況であるが、環境アセスメント業務を始め、県内ダム湖水質調査業務及び岡山県環境保健センターにおける環境大気監視業務等の受託を目指す。

3. 環境活動推進事業

環境意識の高揚を図り、地域の環境保全に貢献するため、環境学習センター「アスエコ」の運営や地球温暖化防止活動事業、循環資源情報提供事業等を実施する。

(1) 環境保全サービス事業 (15,450千円)

ア. 環境学習センター「アスエコ」の運営

地域環境保全の普及啓発・学習の場として、岡山市街地に設置した環境学習センター「アスエコ」において、行政・各種団体等との協調体制のもと、地域のニーズにあった事業を積極的に展開することにより、県内の環境活動の拠点化を目指す。

平成24年度は、情報発信、交流機会の提供・拡大などアスエコ独自の保有機能やスタッフスキルの向上を図るなかで、企画展の実施や展示品の整備、図書・ビ

デオ・グッズの貸出、環境学習のコーディネイトなど、より質の高いサービスの提供を行う。

イ. 環境学習の推進

平成23年度に引き続き、岡山県事業の「協働による環境学習推進事業」を受託し、「環境学習協働推進広場」の運営を行う。また、岡山県やNPO等広場参加団体と連携して、広く県民に対して環境学習出前講座を実施するとともに、環境学習センター「アスエコ」での環境学習を実施する。

ウ. 普及啓発活動

自然体験ツアー、循環資源ツアー、環境ビジネスセミナーなどを開催する。

エ. 環境保全事業に対する支援

地方公共団体、環境団体、岡山県地球温暖化防止活動推進員、温暖化対策地域協議会等が実施する環境保全に関する事業の支援を行う。

オ. 情報誌「環境」の発行

(2) 地球温暖化防止活動事業 (18,050千円)

岡山県地球温暖化防止活動推進センターとして、国・県からの委託事業の実施も含め、広く地球温暖化防止対策の普及啓発を図るとともに、温室効果ガスの具体的な削減に向けた取り組みを行う。

ア. アースキーパーメンバーシップ制度の推進

イ. 地球温暖化防止活動推進員活動の推進

ウ. 環境セミナー、環境イベント、省エネコンテスト等の実施

エ. うちエコ診断員による家庭のCO₂削減の推進

オ. NPO等との協働によるCO₂削減事業の実施

(3) 循環資源情報提供事業 (2,360千円)

岡山県循環資源総合情報支援センターとして、県からの委託事業の実施を含め、企業間における循環資源に関する情報を提供するとともに、廃棄物等の有効利用及び適正な処分に資する情報を広く事業者及び県民に提供する。

ア. 循環資源情報提供システムの運営及び管理

イ. 循環資源マッチングシステムの運用

ウ. リサイクル情報システムの運用

4. 環境緑化事業 (2,950千円)

公共施設を中心とした、樹木管理等の設計業務及び監督業務を実施する。

5. 公共施設等管理運営事業

(1) 自然保護センター管理運営事業 (106,540千円)

岡山県自然保護センターの指定管理者として引き続き適正な管理運営、サービス向上に取り組む。また、自然環境学習の“拠点”として、一層の利用拡大を図るとともに、センターボランティアの育成と活用を推進する。

(2) 建設残土処理事業 (89,280千円)

公共建設残土センターの管理運営を効率的に行い、資源の有効利用に資する。なお、受入計画量は91,100㎡を見込む。

(3) 資源化物選別施設管理運営事業 (52,920千円)

倉敷市資源選別所の管理運営を効率的に行い、資源の有効利用に資する。